

【都立横網町公園】 事業計画書 概要版

都立横網町公園の管理における基本理念

・震災・戦災のメモリアルパークとしての社会的価値の向上に努めます

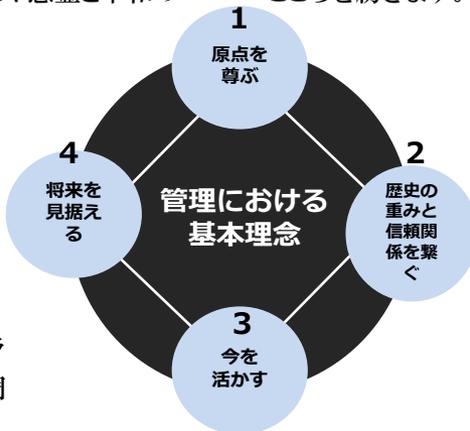
1. **公園の原点を尊ぶ**: 関東大震災並びに東京大空襲の慰霊の場である横網町公園の歴史的アイデンティティを尊重し、慰霊と平和のここを紡ぎます。

2. 歴史の重みと信頼関係を繋ぐ

東京都慰霊協会設立の歴史的重みと東京都との信頼関係を大切に、より絆を強く結びます。

3. **今を活かす**: 東京オリンピック・パラリンピックの開催や災害に対する危機感の高まりなど、社会状況の変化を捉え防災はじめ地域資源を活かした各種施策を提供します。

4. **将来を見据える**: 東京オリンピック・パラリンピックのさらに先、関東大震災100周年を見据えた取組みを展開します。



管理運営計画：管理運営についての方針と具体的な取組

考え方1：横網町公園の意義と存在を広く社会に情報発信していきます

過去の災害を教訓として広く後世に引き継ぐため、出来るだけ多くの市民が本公園を訪れて頂けるように、さまざまな情報媒体を通して本公園の存在をアピールしていきます。

考え方2：慰霊の場にふさわしい環境と多様な生物の生息環境の維持に努めます

春秋の大法要を執り行う慰霊の場としてふさわしい清浄な環境の維持と、小さな公園ですが生物多様性の保全の観点から、出来るだけ多様な自然環境の確保を図ります。

考え方3：震災・戦災の悲惨な歴史を後世に伝え、防災意識の向上に努めます

関東大震災および東京大空襲の重い歴史を伝える唯一の場として、特に小中学校の生徒など日本の将来を担う若い人たちに知って頂く努力を続けます。

考え方4：震災・戦災に関する貴重な資料の保存・修復と活用を図ります。

復興記念館等の所蔵資料は、関東大震災から90年が経過し、学術的・文化財的に価値の高いものが多いため、データ化と保存修復に努めると共に調査研究員の配置を検討します。

考え方5：住民等とのネットワークを大切に安心安全な公園づくりに努めます。

地域住民やNPO団体と協働して各種イベントを開催し、防災意識の向上を図りながら、緊急時にも安心して活動できる環境づくりに努めます。

利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

・身近な窓口での受付と速やかな対応に努めます

本公園は、都立公園としては小さく、管理所や復興記念館に身近な窓口があり、苦情要望等は直接窓口で受け付ける場合がほとんどです。受け付けた要望は、すぐに担当者に伝えられ、出来るだけ速やかに相手に回答するようにしています。

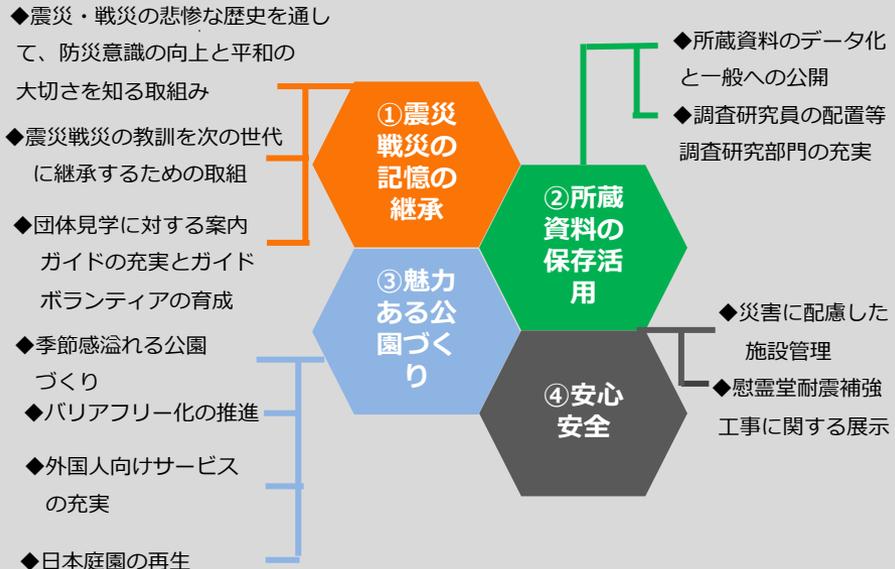
対応の基本は、苦情要望者の意見をよく聞くことと、公共的観点から法令に基づき的確に判断し、公平・公正かつ誠実に説明することです。

このうち、情報共有を図るべき内容のものについては、職員に供覧すると共にマニュアル等に取り入れます。

質の高いサービスを提供するための具体的な取組

・横網町公園の特性を活かした、魅力あるサービスを提供します

重い歴史を背負った横網町公園だからこそ出来る、人々の心に強く訴えるものをみなさんに受け入れやすいサービスの形にして提供します。



公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の取組

・遺族からの寄付金の一部も活用し、公園の魅力アップに取り組みます

これまで大法要や受付窓口等の運営管理財源は、賽銭やお塔婆等の寄進収入及び自動販売機の売上収入を充当してきました。現在は、自動販売機の売上収入や関東大震災90周年あるいは東京大空襲70周年等の寄進収入の一部も、公園イベントの開催や復興記念館の展示リニューアルなど、公園の魅力アップのための自主財源として使用しています。

具体的提案

1: 下町の「小さな植物園」

季節感溢れる公園づくりの一環として、慰霊堂内に季節の花々を飾って、震災・戦災遭難者への追悼と参拝者への癒しを提供します。外国人来訪者にも喜ばれると思います。

2: 地域の「緑の交流広場」

地域における「緑の交流広場」をめざして、季節に合わせた展示やイベントを開催します。これらの企画を通して地域との交流を深め、日常的に公園を支える人たちと地域での存在価値を高めていきます。

※ 横網町公園における季節の花と行事例



オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

・外国人観光客に対する広報戦略を強化します

都立横網町公園は、東京の歴史を紐解く上で欠かせない存在です。外国人に東京が焼野原となった震災・戦災の二度の大惨事と、そこから奇跡的な復興を果たした東京の歴史を知って貰うことは大切なことです。横網町公園の歴史的・地理的位置づけを考えた場合、外国人観光客に対する広報戦略については、次の点を重視したものにしていきます。

- 1: 外国人に分かりやすい案内展示
- 2: 外国人観光客への広報・誘導
- 3: 他の観光施設との地域連携
- 4: 和の空間演出による「おもてなし」

施設維持管理計画：適切な維持管理を行うための取組

・計画的かつ臨機応変な維持管理に努めます

横網町公園は、復興記念館をはじめとして施設の老朽化が著しく、突発的な維持補修を余儀なくされることがあります。公園内の植物についても同様で、これまでの長年の管理実績による経験とノウハウにより、植物の状況を常に把握し、計画的に維持管理を進める部分と臨機応変に対応する部分とに留意しつつ、バランスのとれた維持管理を行います。

・事故や災害を未然に防ぐ努力を惜しみません

事故のない公園が私たちの願いです。事故を未然に防ぎ、安全で快適な公園を楽しんでもらえるよう、私たちは日頃の安全点検に労を惜しみません。

気象災害に対しても、待機・連絡体制を整え、災害に速やかに対応できる態勢を整えます。地震などの災害時には、地方自治体の指揮命令のもと地域防災計画に基づき対応します。不幸にして事故が発生したときは、誠意を持って迅速な事故処理にあたります。

・補修や改良要望に対しても責任を持って対応します

施設補修や改良要望に対しては、その内容を確認し、協会で処理可能なもの、都と協議すべきもの等を判断し、迅速かつ適切に処理します。また、利用者要望をノートにまとめ、協会の対応方針と結果を記録し、きめ細かく継続性のある維持管理に活用します。

さらに、突発的な補修等には都が緊急対策用として確保した経費のほか、協会の維持管理経費についても一定程度保留財源を確保し対応します。